

エースの基幹トラベルバッグブランド

PROTECA[®] (プロテカ) 【2015年CM】
QUALITY MADE IN JAPAN

新生プロテカの、個性豊かなラインナップにご注目下さい！

『カラーボックス篇』2015年3月1日（日）よりオンエアを開始

エース株式会社（本社：渋谷区、代表取締役社長：森下宏明 以下、エース）は、トラベルバッグブランド『プロテカ』の2015年TVCMを、2015年3月1日（日）より全国でオンエアを開始することを発表致します。

今回のCMは、「カラーボックス篇」「自由自在篇」の2篇を放映する予定です。第一弾となる「カラーボックス篇」は、プロテカブランドの主力商品となる「360（スリーシックスティ）」を初め、スタリアイーエックス、マックスパスエイチアイ、レクト、ラグーナライトの5シリーズを使用。プロテカのクリエイティブディレクターとして就任した、デザインオフィスnendo代表の佐藤オオキ氏に登場して頂き、その動きとナレーションを通じて各商品の特徴を視覚且つ聴覚的に視聴者へ伝え、ブランドの高い機能性を訴求しています。

このように、今回のCMはリブランディングを果たした新生プロテカの**個性豊かなラインナップに加え、今までにない全く新しいブランドの世界観**を分かりやすく効果的に視聴者へ伝える内容となっています。

また、テンポの良いピアノ音に、各商品の特徴を端的且つコンパクトにまとめたナレーションを重ねることで、視聴者の気を惹き、商品に意識を集中させる効果を発揮します。CM内で使用されている各商品の演出は、カタログやweb、popといったコミュニケーションツールと連動し、高いプロモーション効果を発揮します。

第二弾となる「自由自在篇」は、360にフォーカス。あえてナレーションを入れず、空間の中で上下左右自由に移動する360と、ケースが開閉する度に流れるリズムカルな効果音のみ（いわゆる「**ミニマルな表現**」）を通じて、その特徴である“上下左右の4方向、360度開閉できる”機能を効果的に視聴者へ訴求しています。（3月12日（木）よりオンエアを開始）

2015年はプロテカブランドの第二ステージの始まりとなる最も重要な年です。国内生産を強みとする高い品質をベースに、ユニーク且つ高いデザイン性や機能性を生活者の皆様に訴求すべく、様々なプロモーションを実施する予定であり、CMはそのプロモーションの一環と位置付けています。



【CM第一弾】プロテカブランド「カラーボックス篇」

◆◆CMストーリーについて『カラーボックス篇』◆◆◆

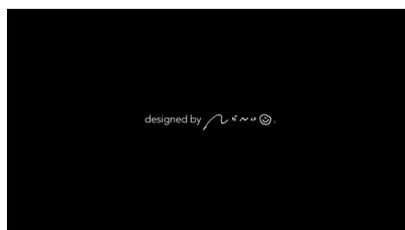
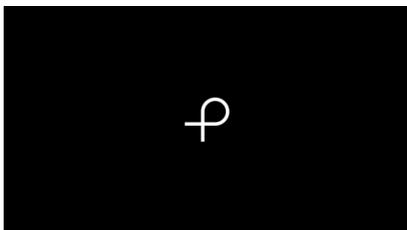
無機質な空間の中で佇む佐藤オオキ氏のバストアップからスタート。その後、各商品ごとに以下の内容で画面が切り替わり、ナレーションが流れます。

- ①「360」：上下左右に開く複数の360の中で、中央の360を手にする佐藤氏。[ナレーション（以下NA）：**どこからでも開くカタチ**]
- ②「スタリアーエックス」：佐藤氏がケースを開けた瞬間、中から多数の赤い本や紙が飛び出し、その状況に驚く佐藤氏。その特徴である「大容量」を視覚的に表現しています。[NA：**想像を超える大容量**]
- ③「マックスパスエイチアイ」：アンコウとケースの間に佇む佐藤氏。アンコウが佐藤氏に近寄り、その後ケースが動き出すのと同時にその特徴である「LEDライト」が点滅します。[NA：**暗間で光るライト**]
- ④「レクト」：岩石がケースに落下することで、その「頑丈さ」を表現。それに驚く佐藤氏。[NA：**頑丈なボディ**]
- ⑤「ラゲーナライトエフ」：「軽量性」を強調するべく、シャボン玉と共にゆっくりと上っていくケースを佐藤氏が人差し指で軽く触れます。[NA：**軽く美しいデザイン**]

このように「カラーボックス篇」は、各商品のコンセプトや特徴を**“佐藤氏の動き”と“ナレーション”を通じて視覚且つ聴覚的に、分かりやすく視聴者に伝える“メッセージ性の高い”ストーリー**となっています。

そして最後に、“designed by NENDO”と画面上にテロップがインサートされ、ナレーションでプロテカと流れ、プロテカとエースのロゴで締めくくります。

◆◆ストーリーボードについて（『カラーボックス篇』30秒）◆◆◆



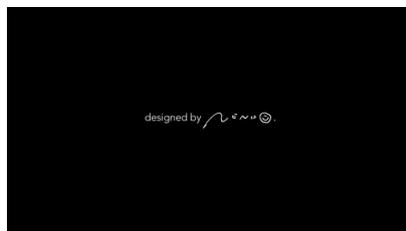
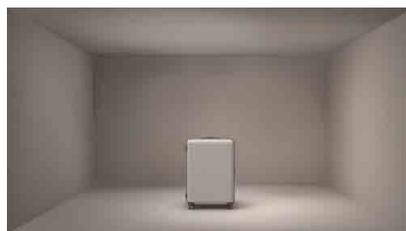
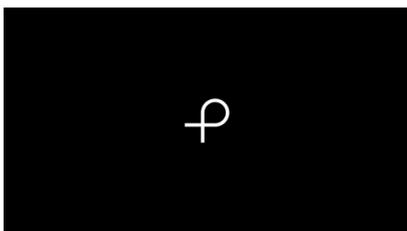
◆◆CMストーリーについて『自由自在篇』◆◆◆

グレーの空間の中で、中央の360の後ろから新たに360が次々と現れ、各々上下左右に動き、また動きながらケースも上下左右自在に開閉します。ケースが開閉する毎にリズムカルな音が流れ、一気に視聴者の気を惹きます。360が不思議な移動を繰り返す中、“360° Open Style”とテロップが画面中央にインサートされます。

このように「自由自在篇」は、360の最大の特徴である「上下左右の4方向、360度自在に開閉できる仕様」を**“ケース動き”と“軽快な効果音”を通じて効果的に視聴者に伝える演出**となっています。

次に、360とテロップが中央にインサートされ、ナレーションで「プロテカ360（スリーシックスティ）」と流れます。そして最後に“designed by NENDO”と画面上にテロップがインサートされ、プロテカとエースのロゴで締めくくります。

◆◆ストーリーボードについて（『自由自在篇』30秒）◆◆◆



本件に関するお問合せ

エース株式会社 マーケティング部 横田地（よこたち） 【ブランド表記】 Proteca（プロテカ）

TEL:03-5843-0607 [読者問合せ: 03-5843-0606] FAX:03-5843-0608 Mail:y-yokotachi@ace.jp Hp:http://www.ace.jp

360 スリーシックスティ

世界初！上下左右の4方向から使用環境に合わせて開くことのできる
画期的なハードケース

15年3月4日（水）発売予定



画像：02513-06

《シリーズ名》 プロテカ 360

品番	サイズ(外寸)	重量	容量	参考価格(税抜)
02511(02516)	54×36×25cm	2.8kg(2.9kg)	32L	55,000円(60,000円)
02512(02517)	59×43×26cm	3.4kg(3.5kg)	44L	58,000円(63,000円)
02513(02518)	65×48×27cm	3.7kg(3.8kg)	61L	63,000円(68,000円)
02514(02519)	76×54×27cm	4.5kg(4.7kg)	85L	70,000円(75,000円)

* () 内は、ポリッシュシルバーの品番、価格です。

《素材》 ポリカーボネートハイブリッド樹脂

《カラー》

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| 03. オリエンタルネイビー | 05. マルーンブラウン | 06. ウォームグレー |
| 08. マンダリンオレンジ | 11. ポリッシュシルバー | 12. シフォンブルー |
| 14. ホライゾングリーン | | |

*360:上下左右の4方向(360度)から開閉可能、の意

*サイズは外寸表記です。
*仕様・価格等に変更が発生する可能性があります。

エース株式会社 会社概要

社名 : エース株式会社 ACE CO.,Ltd.

創業 : 1940年1月1日

資本金 : 14億1000万円

代表者 : 代表取締役社長 森下宏明

従業員数: 1516名(2013年12月21日現在・連結)

事業内容: 旅行バッグ、スーツケース、ビジネスバッグ、スポーツバッグ、ファッションバッグ、旅行小物などの
製造卸

売上高 : 320億円(2013年度・連結)

URL : <http://www.ace.jp>

系列会社: エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、
株式会社エーストレーディング、株式会社グローバルプロジェクト、Zero Halliburton Inc.、
ACE ITALIA S.R.L、SINGAPORE ACE PTE.LTD.、ACE HONG KONG LUGGAGE CO.,LTD.

【東京本社】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE

【大阪本店】〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-2

◆◆What' s Proteca?

2004年にデビューした、エースの代表的なトラベルバッグブランド。
「Protect(守る)」「Technology(技術)」「ACE(エースの理念)」の造語。
プロテカのハードスーツケースの殆どが北海道・赤平工場の徹底した品質
管理の下で製造され、“究極の国産ラゲージ”として市場で販売されています。



◆◆What' s Proteca?

これまでの日本製は、技術と品質に対する“絶対的な信頼感”が高く評価されてきました。
そして、これからの日本製に求められるものは、“世界が注目する独自の美意識や創造力”です。
プロテカが目指すものは、次の時代を担う新たな価値観「新・日本製」。
その新・日本製のスーツケースを製造するのが、国内唯一のスーツケース工場である、エースラゲージ赤平工場です。

世界で唯一の 日本製スーツケース工場



エースラゲージ株式会社 赤平工場

最新のテクノロジーと、職人技の見事な融合により、年間およそ15万本の
ハードケース、6万本のソフトケースを生産する日本で最大且つ唯一の
ラゲージ工場。最新システムとロボットの導入の他、リサイクルできる素材
の採用、排水管理システムの導入など、環境保全活動の拠点としての役割
も担っています。

1971年5月、北海道赤平市茂尻に完成。現在、建物面積34,569㎡敷地
面積110,330㎡を所有。2011年に創業40周年、2014年にはスー
ツケースの国内生産50周年を迎えました。

◆◆Creative Director' s Profile

佐藤オオキ

1977年カナダ生まれ。00年早稲田大学工学部建築学科首席卒業。
02年同大学院修士課程修了、同時にデザインオフィス nendo を設立。
05年 nendo ミラノオフィス設立。06年、Newsweek 誌「世界が尊敬
する日本人100人」に選出される。12年 Wallpaper 誌(英) および
ELLE DOCO INTERNATIONAL DESIGNAWARD にて Design of the Year
を受賞。作品は Moma (米)、ポンピドゥーセンター (仏)、V&A 博
物館 (英) など世界の美術館に収蔵されている。www.nendo.jp

